

# オンコロジー領域へのサポート 2020

## はじめに

『オンコロジー領域へのサポート 2020』は、国民の2人中1人が罹患し、3人のうち1人が死亡するとされ、既に国民病と呼ばれて久しい「がん」に焦点を定めた、弊社初の試みとなる自主マーケティング資料です。

本資料は、各章を主要臓器に基づいて分類し、「食道がん」「胃がん」「大腸がん」(消化器がん)、「肝臓がん」「胆道がん」「膵臓がん」(肝・胆・膵がん)、「肺がん」(呼吸器がん)、「腎臓がん」(尿路上皮がんを除く)、「膀胱がん」(泌尿器がん)、「頭頸部がん」「甲状腺がん」(頭部がん)、「脳・中枢神経系腫瘍」(脳・中枢神経系腫瘍)、「皮膚がん」(皮膚がん)、「乳がん」「子宮がん」「卵巣がん」(女性のがん)、「前立腺がん」(男性のがん)、「悪性リンパ腫」「白血病」「多発性骨髄腫」(血液がん)の20領域で構成しております。

本資料の特徴といたしまして、臓器別領域内における詳細な中領域を、約200品目のがん治療剤(がん治療補助剤を除く)における適応症に基づいて分類した事が挙げられます。これにより、公的機関や学会論文による疫学研究を根拠とした2019年の適応症別患者数や、市場実績推移においても、各製剤の1日薬価と症例別の平均服用日数に基づく計算により適応症ごとの販売高・割合を算出するなど、薬剤からの視点に沿ったマーケティング資料となっております。加えて、各適応症における治療方法では特に薬物療法に重点を置き、各がんの5年生存率や特定がんの検診状況、国内における開発品およびその製品特徴を一覧としてまとめるなど、より専門性の高い部分に関しましても遺漏のない資料作りに努めました。

高齢化から超高齢社会への変遷に伴い、がんの国内罹患数・死亡者数ともに増加傾向が未だ続く昨今、分子標的治療剤、免疫チェックポイント阻害剤や、ウイルス療法、医療機器との組み合わせで行う光線力学療法・ホウ素中性子捕捉療法など近年の新規がん治療法の発展に加え、既存のがん化学治療剤におきましても複数の適応症への適応拡大や剤型追加を図るライフサイクルマネジメントの活性化が盛んとなっております。

既存品におけるプロモーション、新製品・開発品のマーケティングに際し、患者数の動向や市場実績推移データは必要不可欠な情報となっております。医療従事者、開発者、保険者、患者からの視座が戦略立案において今後ますます重要性を増していく中で、本資料が貴社の将来ビジョン策定、延いてはがん治療の発展へ寄与する一助となれば幸いです。

2020年11月

テスト マーケティング 株式会社  
メディカルディビジョン スタッフ一同

# 調査概要

## 調査項目

### <総括編>

1. 国内がん治療剤市場の概要
2. がん領域別市場規模推移(2017~2019年)
3. ランキング(2019年)
4. 適応症別販売状況
5. 患者数の状況
6. 企業別販売状況(2019年)
7. 領域別上位メーカーの動向(2019年)
8. 専門MRの導入状況(2019年)
9. コ・マーケティング、コ・プロモーションの状況(2019年)
10. 対象領域における販売提携、開発品状況(2019年)
11. 製品一覧(五十音順/適応取得日順)  
(ジェネリック医薬品を除く)

### <領域別市場分析編>

1. 対象疾患の概要
2. 患者の動向
3. 対象疾患における薬剤一覧
4. 当該領域の市場動向
5. メーカー動向
6. 当該疾患における動向

## 調査対象領域

20領域(目次参照)

## 調査期間

2020年6月~2020年11月

## 製品別販売高算出方法

各製剤の適応症毎に「一日薬価(薬価×一日投与量/規格用量)×年間投与日数×患者数×係数(※)」を算出し、上記式による適応症毎の値から構成比を求め、各適応症別の実績とした(一部製品についてはメーカー決算を基準として算出)

※適応取得月に応じて年間販売高を調整(例. 1月に適応を取得したものを1.0、6月に適応を取得したものを0.58)

### ▼算出例 (製剤「ベルケイド」 2019年全販売高 159億円)

適応症	一日薬価	年間投与日数	患者数	適応取得日	係数	構成比	適応毎の実績
多発性骨髄腫	102,178.6	68	7,800人	2006年12月	1.00	94.2%	150億円
マント細胞リンパ腫	102,178.6	32	1,023人	2015年6月	1.00	5.8%	9億円

※ 本書における「販売高」は全てメーカー出荷ベースとなっております。

※ 本調査の実績は全て1~12月の年次ベースでの実績となっております。

※ 製薬企業各社のMR数、専門MR数の状況は2020年7月時点での状況です。

※ 市場動向の項目において1物1名称並行販売を行っているブランドについては合算した販売高を掲載しております。(1物2名称についてはブランド毎の販売高を掲載)

# 目 次

## <総括>

調査対象 20 疾患の動向・分析

1. 国内がん治療剤市場の概要 ( 3 )
2. がん領域別市場規模推移(2017~2019年) ( 4 )
3. ランキング(2019年) ( 9 )
4. 適応症別販売状況 ( 12 )
5. 患者数の状況 ( 18 )
6. 企業別販売状況(2019年) ( 21 )
7. 領域別上位メーカーの動向(2019年) ( 25 )
8. 専門MRの導入状況(2019年) ( 27 )
9. コ・マーケティング、コ・プロモーションの状況(2019年) ( 34 )
10. 対象領域における販売提携、開発品状況(2019年) ( 39 )
11. 製品一覧(五十音順/適応取得日順)(ジェネリック医薬品を除く) ( 40 )

## <領域別市場分析編>

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 食道がん ( 65 )    | 11. 甲状腺がん ( 276 )     |
| 2. 胃がん ( 80 )     | 12. 脳・中枢神経系腫瘍 ( 291 ) |
| 3. 大腸がん ( 107 )   | 13. 皮膚がん ( 308 )      |
| 4. 肝臓がん ( 132 )   | 14. 乳がん ( 329 )       |
| 5. 胆道がん ( 150 )   | 15. 子宮がん ( 358 )      |
| 6. 膵臓がん ( 163 )   | 16. 卵巣がん ( 382 )      |
| 7. 肺がん ( 180 )    | 17. 前立腺がん ( 396 )     |
| 8. 腎臓がん ( 216 )   | 18. 悪性リンパ腫 ( 412 )    |
| 9. 膀胱がん ( 234 )   | 19. 白血病 ( 450 )       |
| 10. 頭頸部がん ( 248 ) | 20. 多発性骨髄腫 ( 481 )    |

<企業別開発品一覧> ( 499 )

## 調 査 項 目

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1. 対象疾患の概要      | 4. 当該領域の市場動向  |
| 2. 患者の動向        | 5. メーカー動向     |
| 3. 対象疾患における薬剤一覧 | 6. 当該疾患における動向 |

「オンコロジー領域へのサポート2020」<CD-R付>

頒価：300,000円(消費税別)

---

---

発行日：2020年11月30日

発行人：金塚 進

発行所：テストマーケティング株式会社

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町2-14

パールビル4F

TEL 03-5642-3768

FAX 03-5642-3778

---

---

日本語・外国語を問わず、いかなる形式でも本書の一部または全部の複製無断転載をお断り致します。